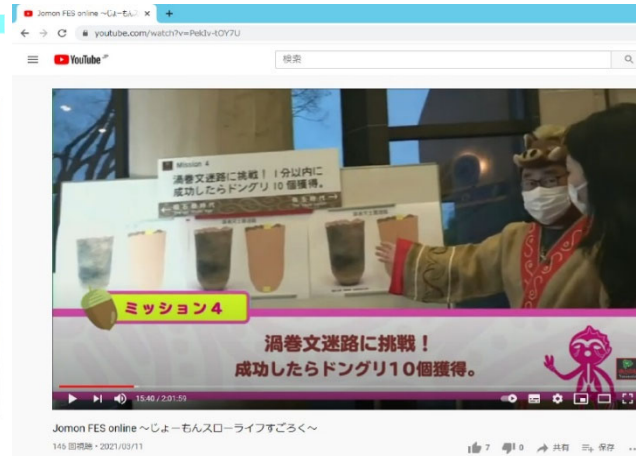


【事業実績】

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、縄文王国実行委員会構成7館とも5月末～6月末まで休館し、再開後も多くの活動が中止・延期となる中、本事業においては柱となる「Jomon FES—山梨縄文まつり—」の内容を中心に再検討した上で、以下の2つの事業を実施した。

【1】縄文の魅力拡散と新たな縄文ファンを掘り起こすためのイベントの開催

- Jomon FES online—じょもんスローライフすごろく—
- ・3月7日 山梨県立考古博物館よりライブ配信、終了後はYoutube 縄文王国山梨チャンネルのアーカイブより配信



<https://www.youtubue.com/channel/UCXg1Yy9yfV4k0OIIcFjFO-w>(または「縄文王国山梨チャンネル」で検索)

- 参加者(視聴者)数
 - ・ライブでの視聴者 533人
 - ・アーカイブでの再生回数 875回 (3月末現在)
- マスコミでの報道結果
 - ・日本経済新聞(電子版) 3月4日掲載

【2】縄文王国構成7館を回り、山梨の縄文へより理解を深めてもらうためのイベントの開催

- 縄文王国山梨スタンプラリー(平成31年度からの継続)

・6月1日 ～ 3月31日 縄文王国山梨実行委員会構成7館

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、山梨県立考古博物館・山梨県立博物館は5月21日まで休館、他館は6月末まで休館)



○参加者(視聴者)数

・7館合計 2,650人

【3】成果及び今後の課題

今年度は新型コロナウイルスの影響により、平成28年度から実施してきた「Jomon FESー山梨縄文まつりー」のように、多くの人に参加してもらえようようなイベントを開催することができなかったが、オンライン配信による「Jomon FES onlineーじよもんスローライフすごろくー」を開催するとともに、縄文時代資料を豊富に所蔵する構成各館を巡ってもらうため、昨年度からの継続となる「縄文王国スタンプラリー」を実施した。

コロナ禍での実施となった「Jomon FES online」は、昨年度までの実績により蓄積されたノウハウを生かし、視聴者に縄文の魅力を発信することができた。

「縄文王国スタンプラリー」は、コロナ禍で来館者が減少する状況下ではあったが、継続することで縄文王国構成7館の連携を示すイベントとして実施することができた。

「Jomon FES」、「スタンプラリー」は、次年度も継続して実施していくことで、引き続き縄文文化の魅力を発信していきたいが、コロナ禍の中で次年度以降、いかに継続していくかが課題である。